

2015年8月5日  
NPO法人に  
なりました!

- ブラジルにおいて教育を通じた事業を行い、子どもたちが自らの将来を選択していくための生きる力を持てるようにする
- 地域の伝統文化を通じて、地域住民自らの生活安定及び向上を目指していくこと
- 日本国内の一般市民に対し、普及啓発や国際交流・協力の場を提供し、日本とブラジルの相互理解や国際協力の発展に寄与すること

今まで以上に日本とブラジルの両国をつなぐことを実現していきたいと思っています。  
任意団体であった頃よりも、さらに多くの皆様のご支援、ご協力が必要です。  
今後とも応援のほど、よろしくお願い致します!



## Feliz Ano Novo!!! あけましておめでとうございます!

前号の冒頭で私は、「今年は大きな変化が続く1年となります。」と書いたのですが、2015年、変化というよりも、いつもと異なる状態での光の子どもたちの会の運営をすることになりました。というのも、私自身がいつもなら日本に3、4ヶ月滞在すれば長い方だったのですが、なんと、半年以上もの間滞在をすることになったのです。娘達は「初めて日本の四季を体験するね!」と、喜びの言葉を漏らす一方、ブラジルの家族とこれだけ長い間離れた事がなかったのに、寂しい気持ちもあるのでは?と感じています。

私が日本にいる間、カノアでの保育園等の運営・管理は、現地のスタッフに任せる必要がありました。短期間ならまだしも、これだけ長い間任せるというのは初めてのことで、多少の不安はありましたが、初心を思い出し、思い切って任せることにしました。私がエヴァさんというブラジル人女性と一緒に保育園をはじめた当時、いつも言っていた言葉があります。「地域

住民自らがこの保育園を必要としているなら、彼らの手で運営できるようにしなくては行けない。私たちはいつ何時、自分たちの家族のいる場所に帰らなければいけなくなるかもしれないのだから・・・」だからこそ、地域住民の中から教師を養成し、クラス運営をできるようにと指導してきました。それがあったからこそ、私が数カ月の間カノアを離れることがあっても、きちんと運営してこられたのだと思います。しかし、これだけ長い間、しかも、心の準備もなく任されてしまったので、スタッフにとって大きなストレスでもあったようで、「いつも以上に疲労困憊している」「休みが欲しい」という声を聞いています。まだ、保育園運営のすべてを任すのは早かったのかもしれない・・・と思いつつ、でも、これも今後、カノアの活動をどのようにしていくのかを考慮する上で、とても貴重な機会だったと感じています。カノアに戻ったらたくさんの愚痴を聞かされることになるんだろうなあ～。

## 世界へ羽ばたく！ 「光の子どもたちの会」卒業生

これまでご紹介したViviane(ヴィヴィアーニ)、Angelina(アンジェリーナ)、  
Patrícia(パトリシア)につづき、初の男の子にインタビュー！ 翻訳:鈴木真由美



ルーカス・デ・モウラ・フェルナンジス  
(Lucas de Moura Fernandes)

### みなさん、はじめまして！ Todu bem?

僕の名前はルーカス・デ・モウラ・フェルナンジス、16歳、カノア・ケブラーダに住んでいます。今は高等専門学校で情報処理を学んでいます。普通高校は授業が半日しかないのですが、僕の学校は午前中に教養科目を学び、午後に専門科目を学ぶため、朝7時から5時まで授業があります。2年生になると研修としてパソコン業務のできるお店で働くこととなります。本当は動物が大好きなので獣医になることが夢だったのですが、高校進学の際に情報処理を選んだことで、今はIT関連の仕事に就きたいと考えています。でも、まだどうなるか分かりませんが…。

### 学童教室での日本人ボランティアとの出会い

ここから少し、僕が3年間通った学童教室での思い出について書きたいと思います。そこには色々な国、例えば日本やドイツからたくさんのボランティアがやってきて、自分たちの生まれ育った国や文化について僕たちに教えてくれました。その人たちの中には僕たちが住む村や、そこに住む人々と強い絆で結ばれた人もいます。その中でもいちばん印象深かったのは、真野由紀さんという日本人ボランティアです。彼女のお蔭で、日本とブラジルという2つの国を結びつけることができたのではないかと感じています。彼女は自分の知識や経験からたくさんのことを僕たちに教えてくれ、また、さまざまな活動を僕たちと一緒に実現してくれました。

## 日本の学校とも交流

彼女が僕たちの村にいたとき、日本の学校との交流を行いました。自分たちで考え、彼らにブラジルのことや僕たちの村のことを伝えたことは、今でも大切な思い出として忘れることはありません。

## メロン農園での出会い

また、「僕たち自身の手で実現しなければならない」と、さまざまな努力を一緒にしてくれました。例えば、モッソロ市への遠足についてです。この遠足を実現するために、僕たちは資金の調達を頑張りました。そして、メロンの収穫、箱詰めなどの工程を見学することができました。しかし、ここで一番の（優良）メロンは海外に輸出されると聞いたときはショックでした。ここのオーナーは日系人の大谷さんという方で、自分がブラジルに移民として来て、その後、苦勞しながら今のメロン農園を築いた話を聞かしてくれました。そして僕たちに対して、たくさんの助言をしてくれ、自分たちの手で素晴らしい未来を築くことができるということを教えてくれました。彼は自分の生い立ちを話してくれただけではなく、僕たちがこの瞬間を楽しめるようにいろいろな所に連れて行ってくれました。



## 自分たちで努力すること

そしてもう一つ。僕たちは由紀さんと一緒に焼きそばを作り、それを売った収益でフォルタレーザで開催されていた日本を知ることのできるイベントに行くことができました。自分たちで努力したことで得られたこの機会は、僕にとって忘れられない出来事でした。



いちばん右が真野由紀さん

## この機会をありがとう

最後に、すべてのことを体験させてくれ、今の自分に欠かせないものをくれた由紀さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。彼女が僕たちのために伝え教えてくれたことから学んだことは、僕たちの将来のために必ず役に立つことでしょう。彼女が伝えてくれたことは僕の心に深く刻まれています。こうして学んだことをこれからの将来に生かしていきたいです。そしていつか日本を訪れ、交流した日本の学校の生徒たちと会える日が来ることを願っています。全てのことに、ありがとう。

## 待ちに待った遠足、 さあどこへ行く？

毎年恒例、年に一度の遠足の季節がやってきました！この日は、子ども達にとっては年に一度のご褒美の日。毎年どこに行こうかと、教職員で話し合いながら予算を考慮して行き先を決定します。さて2015年の今年、一体どこに行くことにしたと思いますか？そうなのです。なんと、“自分たちの村を探検しよう！”ということで、エステーヴァン海岸に行くことになりました。実はこれからはすごい。それを知った「バギー協会」の人達から、観光客に行くようなバギーツアーのプレゼント。そして、村唯一のレストラン「ナイン」からは昼食のプレゼントをしていただきました！



いつもは、「真由美がいるから…」と、自分たちで動くことを制限してしまう現地スタッフ。しかし、彼らもなんとか自分たちだけで今回の遠足を成功させたいと気持ちが強く、その気持ちが地域にも広く伝わった結果なのかなあ〜と、嬉しく感じました。しかも、私がいけないということで、「大丈夫？何かあったら手伝うよ」といった声も掛けてくださる方が多くいたようで、地域の皆さんに支えてもらいながら、2015年の一大イベントが開催できたのだと、痛感しました。私が村にいないことで、思わぬところで素敵なプレゼントをいただけたということ。嬉しい気持ちと、少しだけ、寂しいと感じる私がいるのでした。

### 子育て日記より

ただいま1歳半の姪を含む3人の子育てをしている私ですが、やはり久しぶりの乳児の子育て、楽しいですね！長女は小さなお母さんのように色々お手伝ってくれるのですが、次女は突然妹ができたような心境なのか、嫉妬心丸出しで喧嘩をします。それでももう小学生。自分自身でどこまでどうすればいいのか、日々学んでいるようです。お姉ちゃんに対するのとは、また異なる対応。次女が大きく成長していく様子をこれからも見守っていきたいと思います。

# 第2回 カノア写真コンテスト を実施しました

好評のため前回につづき、2015年9月からFacebookで「第2回カノア写真コンテスト」を実施しました。Facebookのイベントページの中では、投稿された全ての写真の中の上位10作品を選出。それらを10月に開催した「よこはま国際フェスタ」のブースに掲示しました。ブースに立ち寄っていただいた方々にそれぞれ好きな1枚を選んでもらい、最終的に5作品が決定されました。

Facebookに写真を投稿して下さった皆さん、そして、投票に参加して下さった皆さん、本当にありがとうございました！！選ばれた5作品は前回と同様、ポストカードにして販売する予定です。皆さん、楽しみにしてください！



入選した5作品

## 国内活動＊Atividade no Japão

### ●9月30日JICA草の根協力事業完了報告会を実施

この事業は、犯罪増加と地域の治安悪化、アルコール・薬物依存、離婚・家庭内暴力による家庭崩壊の増加、多くの児童が学校からドロップアウトして非行に走る、児童売春や薬物売買に関わるケースといった課題に対して、カノア・ケブラーダ地区を対象に、地域の育児支援体制を強化して問題の早期発見や解決を図り、青少年が健全に成長していくためのライフスキルにかかる情報やトレーニングのための場の提供、保護者層に対する育児及び社会福祉サービスにかかる情報発信を行う目的で実施されました。アラカチ市、保健所、地域のNGO(6団体)、私立教育機関に所属するメンバー(地域で活動する教師、看護師、保健師、ソーシャルワーカー、心理士等の専門家、コミュニティーリーダー)と地域住民が共に参加しており、毎月一回定例会を開催しています。そこで、自分たちの地域の課題を率直に話し合い、解決につなげていく姿は本当に素晴らしいものでした。また、地域住民が自らコミュニティーリーダーとして参加しており、彼らが中心となって実施していることで、事業実施終了後も引き続き活動が継続されています。残念ながら子育て広場は私たちが予定していたような活動とは異なる形となってしまいましたが、当初の目的でもある、「情報発信」という点は達成できたのではないのでしょうか。今回の活動はカノア・ケブラーダ地区という一つの地域を対象地域としていたのですが、モデル事業として発展していることを受け、今後、この活動をアラカチ市内の他の地域に広げていきたいと考えています。またそれが実現できる運びとなりましたら、皆様にご報告させていただきたいと思えます。

### ●10月10日・11日 よこはま国際フェスタ

2日間、横浜象の鼻パークにて開催されたよこはま国際フェスタに参加してきました。光の子どもたちの会のブースではカノアの子どもたちが作ったアクセサリーや小物、現地の伝統工芸品のラビントに加えて、グアテマラの民芸品である草木染めの小物も販売しました。このグアテマラの民芸品は、2年間青年海外協力隊でグアテマラに行っていたスタッフの川原が現地で仕入れてきたものです。2日間で14,800円の売り上げがあり、この収益はエステバン村にある文化センター修繕のために寄付されます。また、この2日間でブースに立ち寄ってくれた人を対象にFacebookで募集したカノア写真コンテストも行いました。

カノアの子どもたちの  
手作りアクセサリー



## ご参加ください！

●2月7日よこはま国際フォーラム

●3月20日総会

13時～16時 JICA横浜 会議室1:総会&ポルトガル語講座(ヘンドリック先生をお呼びします！)

# ありがとうございます \*Obrigado

会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。  
この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。  
これからも一人でも多くの方に会員になって頂き、カノアの活動を共に支えていただけたら嬉しいです。

## 会費及び寄付を頂きました皆さま（以下順不同）

加藤恵美子さま・下向井稔さま・谷村祥子さま・長谷川宏さま・藤崎さよりさま・堀池眞輔さま・馬上隆一さま

## 物資支援をいただきました皆さま（以下順不同）

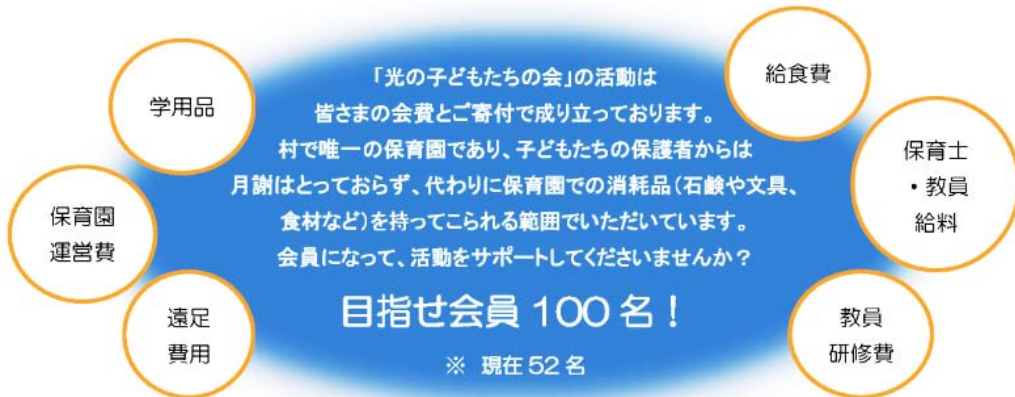
高橋道子さま・藤本夏実さま

## ボランティアの皆さん、どうもありがとうございました！

（以下2014年12月より現在まで）

2014/8/15～2015/8/7: Vivianne(ビビアーニ、ドイツ人)・・・保育園にて障がい児担当。英語及び手仕事の授業

2015/12/1～12/5: 木村浩介(幼稚園教諭、音楽家)・・・学童教室及び教職員に音楽の授業



## 年会費（五千元）・ご寄付のお振込み方法は4つ

### 1. 自動引き落としによる振込み

自動引き落とし希望の口座のある金融機関で手続きができます。引き落とし日、金額をご指定いただけます。尚、ゆうちょ銀行の場合は以下の〈2. 郵便振替〉と同じ口座番号ですが、他金融機関からの振込の場合には〈3. ゆうちょ銀行振込〉の口座番号となりますので、ご確認ください。

### 2. 郵便振替

口座番号: 00280-1-41787

加入者: 光の子どもたち-カノアの活動を支える会

### 3. ゆうちょ銀行振込

名義: 光の子どもたちの会 店名: 〇二八(ゼロニハチ)  
店番号: 928 普通預金 口座番号: 5552598

### 4. インターネットよりクレジットカードで振り込み

光の子どもたちの会ホームページ

([http://criancasdeluz.org/inicial/index\\_jp.html](http://criancasdeluz.org/inicial/index_jp.html))より、  
お振込みいただけます。

お問い合わせ先: 代表 鈴木真由美、日本事務局長 堀池眞輔

〒221-0841 神奈川県横浜市神奈川区松本町 1-7-1 TEL/FAX 045-321-1824 [horike59@msi.biglobe.ne.jp](mailto:horike59@msi.biglobe.ne.jp)

フェイスブック「光の子どもたちの会」 ホームページ: <http://criancasdeluz.org>

# ブラジル料理教室 \* Aula de cozinha brasileira

Helena(エレナ)先生



大好評のブラジル料理教室。  
その様子を詳しくご紹介します！

Casada há 25 anos com um sansei. Mora no Japão há 24 anos. Mãe de dois filhos, um de 23 anos e outro de 18. Professora de português e inglês. Gosta de cozinhar e viajar.

日系三世の旦那さんと結婚して25年、日本に住んで24年になります。23歳と18歳の2人の息子の母親です。ポルトガル語英語の先生でもあります。お料理と旅行が好きです。

## 7/25 ● コシーニャをつくろう！

コシーニャ、マンゴーサラダ、パイナップルゼリー

14名の参加者で力を合わせて、コシーニャをたくさん作りました。コシーニャ作りはそれぞれの個性が出ました。さまざまな形のコシーニャが出来上がりました。マンゴーサラダ、パイナップルゼリーも、簡単なのにとっても美味しく華のあるメニューで、好評でした。会食中には一時帰国中の真由美さんの話も聞け、充実した時間が過ごせました。



## 9/12 ● パンケッカって？

パンケッカ、ブラジル風プリン、サラダ

ブラジルでは朝食などに食べるという、パンケッカ。今回は、挽き肉のソースと一緒にいただきました。一人ひとり自分で生地を焼いたり、具を入れて巻いたりして作りました。プリンも、エレナさんオリジナルの、レモンが決め手のプリン作り方を教えていただきました。どちらも、思わず「おかわり！」と言いたくなるくらい、美味しく出来上がりました。簡単で美味しいパンケッカとプリン、家でも作って楽しめそうです。



## 12/12 ● クリスマス・メニュー

チキンの丸焼き、ザクロのサラダ、インゲンと人参のブラジル風炊き込みご飯、チーズケーキのフルーツソースのせ  
ブラジル料理教室もこれで 第8回目。今回は12月ということで、ブラジルのクリスマス料理を作りました。前回は参加して下さった中津さんが手作りのブラジル風プリンを持ってきて下さいました！エレナ先生に教えてもらいながら皆で作った料理やデザートはどれも絶品！2羽あったチキンの丸焼きもあっという間に平らげてしまいました。美味しいものを食べながら、様々なバックグラウンドを持った方たちとお話するのはこの料理教室の醍醐味です。食べ終わった頃には、お腹も心も満たされていました。

